第三中だより
いちょう
11月号　令和8年11月5日
新座市立第三中学校
〒352-0015　新座市池田 1-1-1
TEL(048)479-4052
目指す学校像　生徒一人一人の力が伸びる学校

霜月　仲間と力を合わせ、全身で表現した体育祭

校長　近藤　章宏

― 熱進～笑者こそ勝者～ ―

先月中頃には台風の接近で、体育祭の準備や練習に関して日程の変更等もあり、生徒達も戸惑いがありながら進めたところです。結果的には予定通り体育祭を開催することができました。生徒達が全力で取り組んだ体育祭について、所感をお伝えいたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

10月30日、朝は雨が残りましたが、第54回体育祭を開催しました。今年のスローガンは「熱進～笑者こそ勝者～」です。練習を重ねてきた生徒たちは、競技に全力で取り組み、仲間に声援を送り、係の仕事にも責任をもって臨みました。ご来場いただいた保護者の皆様、運営にご協力頂いたPTA役員・ボランティアの皆様にも、心より感謝申し上げます。


団対抗種目
ビッグウェーブ

体育祭は、勝敗を競うだけの行事ではありません。目標に向かって努力すること、仲間と力を合わせること、自分の役割を果たすこと、そして互いの頑張りを認め合うことを、体験を通して学ぶ機会です。思うような結果にならず悔しさを感じることも、仲間と喜び合うことも、真剣に取り組んだからこそ得られる大切な経験です。競技の結果だけでなく、そこに至るまでの努力や、仲間を支える姿にも大きな価値があります。


1年生種目
台風の目

当日は、各競技で三中生の熱い挑戦が見られました。走者を仲間がつないでいくリレーでは、バトンを受け渡す瞬間まで集中する姿や、走り終えた仲間を励ます姿が印象的でした。大縄跳びでは、跳び手が声を合わせ、回し手も力いっぱい縄を回し、クラス一丸となって記録に挑んでいました。競技に出場する人だけでなく、応援する人や係を務める人も、それぞれの場所で体育祭を支えていました。まさに、一人一人の力が合わさってつくり上げた一日でした。

競技が始まると、仲間の声援を力に変えて、最後まで走り抜いたり、失敗しても気持ちを切り替えて挑戦を続けたりする姿が見られました。勝った団やクラスの歓声だけでなく、悔しさをにじませながらも、相手の健闘をたたえる姿にも心を動かされました。また、用具の準備や片付け、競技の進行などを担った生徒たちの働きも、体育祭を安全に、円滑に進めるために欠かせないものでした。


2年生種目
背中渡り

学年種目にも、学年ごとの工夫や仲間とのつながりが表れていました。1年生の「台風の目」では、棒を持つ仲間と呼吸を合わせ、コーンを回るたびに声を掛け合う姿が見られました。入学から7か月、体つきにも中学生らしさが感じられ、仲間と競技に向かう頼もしい姿に成長を感じました。

2年生の「繋いだ背中のその先へ」では、体の大きさや走る速さの違いを互いに補いながら、走者が進みやすいように仲間が背中をつなぎました。列から落ちた後、次の動きに備えて階段状にかがむ工夫も見られました。仲間のことを考え、力を合わせて次へつなぐ姿に、2年生の成長を感じました。

3年生の「ローハイド」では、騎馬の3人が騎手を支え、騎手は仲間の思いを受けて的を狙いました。早く的に当てたい気持ちと、騎馬の仲間を思いやる気持ち。その両方を胸に、互いを信頼して挑む姿に心を打たれました。3年間の学校生活で培ってきた仲間との絆が、競技の中に表れていました。体育祭で得た喜びや悔しさ、仲間とともにやり遂げた経験を、これからの学校生活にも生かしてほしいと思います。


3年生種目
ローハイド

今年のスローガンにある「笑者」とは、ただ勝った人のことではないと思います。全力を尽くした人、仲間の努力をたたえた人、誰かのために力を尽くした人が見せる笑顔こそ、体育祭を彩る大切なものです。今日感じた達成感や、仲間と心を通わせた経験が、これから新たな課題に向き合うときの力になることを願っています。

近年の体育祭では、練習時間の制約もあり、組体操やダンスなどの表現種目はありません。しかし、第三中の体育祭では、競技に挑む姿や応援、そして競技後の結果に対する喜びや悔しさを通して、生徒たちが全身で思いを「表現」していることを強く感じました。仲間とともに悩み、励まし合い、目標に向かって挑戦する日々。その一つ一つが、中学生としての青春を形づくり、生徒たち一人一人を輝かせています。そんな三中生の姿に、体育祭の大きな意義を改めて感じた一日でした。

